

輔仁大学日本語文学科・輔仁大学外国語学部・台湾日本語文学会  
**2018年度輔仁大学日本語文学科創立50周年台湾日本語文学会創立30周年**  
**記念国際シンポジウム**  
**「日本研究の課題と展望—文学・言語・社会」**  
**プログラム**

日 時：2018年12月15日(土曜日) 場 所：輔仁大学徳芳外語大楼

08:30~09:00		受 付		
09:00~09:10		<b>開 会 式</b> (徳芳外語大楼5階 FG507 孫志文神父記念講堂) 松原 一樹 (公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長) 頼 振南 (輔仁大学外国語学部長・台湾日本語文学会理事長)		
09:10~10:00		<b>基 調 講 演 1</b> (徳芳外語大楼5階 FG507 孫志文神父記念講堂) 司 会：曾 秋桂 (台湾日語教育学会理事長・淡江大学日本語学科主任) 講 演 者：和田 博文 (日本東京女子大学教授・日本昭和文学会代表幹事) タイトル：日台共同研究の可能性と課題		
10:00~10:50		<b>基 調 講 演 2</b> (徳芳外語大楼5階 FG507 孫志文神父記念講堂) 司 会：横路 啓子 (輔仁大学日本語文学科主任) 講 演 者：佐久間 淳一 (日本名古屋大学教授兼文学部・人文学研究科長) タイトル：時間表現の多様性と普遍性について		
10:50~11:00		記念写真撮影/各会場へ移動		
11:00   11:55	11:00	<b>第一会場</b>	<b>第二会場(B)</b>	<b>第三会場</b>
		<b>FG202</b>	<b>FG204</b>	<b>FG208</b>
	11:05	<b>第一セッション</b>	<b>第二セッション</b>	<b>第三セッション</b>
	座 長	内田 康 (淡江大学副教授)	陳 明姿 (台湾大学教授)	黄 英哲 (台中科技大学副教授)
	11:05	発表者：西 幸子 (日本福岡大学特別選抜研究員)	発表者：仁平 道明 (日本東北大学名誉教授)	発表者：王 琪 (日本九州大学博士後期課程)
	11:25	騎馬民族征服王朝説と古墳時代の馬具	フィクションにおける時間の設定—『竹取物語』『源氏物語』を中心に—	日本語逆接表現「でも」と共起する表現についての一考察—会話の分析から—
	11:25	発表者：小澤 尚平 (日本福岡大学博士後期課程)	発表者：李 美淑 (韓国 SEOUL 大学校客員研究員)	発表者：住田 哲郎 (日本京都精華大学専任講師)
	11:45	南北朝期の幕府と九州探題	『土佐日記』と『蜻蛉日記』における「今日」という時間表現	テイル・テイク・テクルの類義性に関する一考察
11:45	質疑応答	質疑応答	質疑応答	
11:55~12:20		台湾日本語文学会会員大会/昼食付き (FG507)		ポスター発表 一回目 (徳芳外語大楼1階)
12:20~13:00		昼 食 (FG306・FG307・FG308)		

13:00   13:05  座長  13:05   13:25  13:00   14:20	13:00	<b>第一会場</b>	<b>第二会場(B)</b>	<b>第三会場</b>
	13:05	<b>FG202</b>	<b>FG204</b>	<b>FG208</b>
		<b>第四セッション</b>	<b>第五セッション</b>	<b>第六セッション</b>
		発表者：柳原 暁子 (日本北九州市立松本清張記念館) 時空を超えて—糸山秋子「離陸」論	発表者：佐藤 敬子 (日本横浜市立大学看護短期大学 元非常勤講師) 時間を超えた教訓—『沙石集』にお ける『竹取物語』引用—	発表者：落合 由治 (淡江大学教授) マルチモーダル領域における日本 語研究の未来展望—AI 自然言語処 理研究への接続の観点から—
	13:25	発表者：坂元 さおり (輔仁大学副教授) 船戸与一『蝦夷地別件』論 —「アイヌ最後の戦い」を「ハー ドボイルド」はどう描くか—	発表者：中村 祥子 (輔仁大学副教授) 『更級日記』における「天喜三年十 月十三日」という時間—時間を遡っ て記される記事の意味について—	発表者：盧 妊鉉 (韓国徳成女子大学校助教授) 韓国の大学の教養課程における日 本事情教育の現状と課題 —ソウル所在の4年制大学の事例 を中心に—
	14:05	発表者：黄 馨儀 (中国文化大学助教授) NHK 朝の連続テレビ小説の台湾受 容：『あさが来た』を中心に	発表者：木下 華子 (日本ノートルダム清心女子大学 准教授) 『方丈記』の時間—「朧化」をめぐ って—	発表者：勝又 基 (日本明星大学教授) 台湾から見える日本文学研究の新 たな景色—日本、米国の現状と比較 して
14:20	質疑応答	質疑応答	質疑応答	
14:20~14:40		ティー・ブレイク		ポスター発表 二回目
14:40   14:45  座長  14:45   15:05  14:40   16:00	14:40	<b>第一会場</b>	<b>第二会場(B)</b>	<b>第三会場</b>
	14:45	<b>FG202</b>	<b>FG204</b>	<b>FG208</b>
		<b>第七セッション</b>	<b>第八セッション</b>	<b>第九セッション</b>
		発表者：游 書昱 (日本名古屋大学博士後期課程) 『新青年』、男の化粧、そしてモダ ン・ボーイ	発表者：戸田 哲也 (景文科技大学助教授) 「日本人論」の70年—「集団主義」 説をめぐる言説の変遷	発表者：馮 寶珠 (輔仁大学副教授) 初級日本語教科書における依頼表 現の一考察
	15:05	発表者：下岡 友加 (日本広島大学准教授) 『台湾愛国婦人』掲載・英塘翠「生 蕃お伽噺」考	発表者：小針 浩樹 (輔仁大学副教授) 形容詞文の時間性と行為性	発表者：梁 乃允 (韓国中央大学校非常勤講師) 日本語学習者の丁寧体の話しこと ばにおけるノダの使用様相—書き ことばとの比較を通じて—
	15:25		発表者：横路 明夫 (輔仁大学副教授) 新海誠作品における時間感覚—初 期三作から『君の名は。』へ—	発表者：李 桂芳 (大葉大学助教授) 教学ビデオの制作を取り入れた会 話クラス
16:00	質疑応答	質疑応答	質疑応答	

16:00~16:10		ティー・ブレイク		
16:10   16:15  16:10   17:05  16:35   16:55  16:55   17:05	座長	第一会場 第一〇セッション	第二会場(B) FG204 第一セッション	第三会場
	座長	范淑文 (台湾大学教授)	黄翠娥 (輔仁大学教授)	
	16:15   16:35	発表者：曾秋桂 (淡江大学教授) エコフェミニズムの視点から読む 村田沙耶香の『コンビニ人間』 —学習型の人工知能AI的主人公の 誕生について—	発表者：野松循子 (日本西南学院大学非常勤講師) 『虚空遍歴』と『龍の棲む家』の時 間観にみる文学姿勢	
	16:35   16:55	発表者：葉菱 (淡江大学助理教授) 村上春樹文学における自己への追 求	発表者：齋藤正志 (中国文化大学副教授) 〈時間〉の旅、その遡行と循環—川 上弘美「墓を探す」における「ほと とぎす」の役割—	
	16:55   17:05	質疑応答	質疑応答	質疑応答
	17:05~17:10		休憩/会場へ移動	
17:10~17:50	<b>パネルディスカッション</b> (徳芳外語大楼2階FG202室) テーマ：日本研究の課題と展望—文学・言語・社会 モデレータ： 頼振南 (台湾日本語文学会理事長・輔仁大学外国語学部長) パネリスト① 佐久間淳一 (日本名古屋大学教授兼文学部・人文学研究科長) パネリスト② 和田博文 (日本東京女子大学教授・日本昭和文学会代表幹事) パネリスト③ 盧妊鉉 (韓国徳成女子大学校助教授・韓国日本語学会副会長) パネリスト④ 八尋春海 (日本比較文化学会会長・日本西南女学院大学教授) パネリスト⑤ 曾秋桂 (台湾日語教育学会理事長・淡江大学日本語学科主任)			
17:50~18:00	<b>閉会式</b> (徳芳外語大楼2階FG202室) 范淑文 (台湾大学日本語文学科教授・台湾日本語文学会副理事長) 横路啓子 (輔仁大学日本語文学科教授・輔仁大学日本語文学科主任)			
18:00~18:10	<b>懇親会会場へ移動</b>			
18:10~19:30	<b>懇親会</b> (徳芳外語大楼5階FG507 孫志文神父紀念講堂)			
主催	輔仁大学日本語文学科・輔仁大学外国語学部・台湾日本語文学会			
協賛	科技部・輔仁大学研究發展処・独立行政法人国際交流基金・台湾日語教育学会・韓国日本語学会・日本比較文化学会・昭和文学会・致良出版社・大新書局・尚昂文化事業国際有限公司			
後援	公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所			
基調講演：50分 論文発表：20分・質疑応答：5分				

**発表者①**：池田 純（日本拓殖大学博士後期課程）

テーマ：多義性を持った漢語についての考察—「結構」「適当」「大丈夫」を例に—

**発表者②**：許 夏珮（東呉大学副教授）

テーマ：絵本の朗読による台湾人児童の日本語習得

**発表者③**：徐 孟鈴・何 宜庭（銘伝大学副教授・修士課程）

テーマ：アニメ・アフレコを大ニ会話に導入する試み

**発表者④**：張 彩薇（日本京都大学博士前期課程）

テーマ：1950年代日本における台湾認識

**発表者⑤**：林 淑璋・吳 翠華・鄧 進宏・余 耀佳・唐 嘉鋒（元智大学副教授・学生）

テーマ：初級日本語会話練習教材試作—ARと音声認識APIの活用

**発表者⑥**：徐 翌（日本神戸大学博士後期課程）

テーマ：日本SFの浸透と拡散—SF同人誌を中心に—

**発表者⑦**：陳 冠霖（日本大阪大学博士後期課程）

テーマ：台湾人日本語学習者と日本語母語話者による聴覚自然性評価の差異  
—フィルター、ポーズ、発話速度を加工した合成音声を利用して—

**発表者⑧**：林 曉淳（世新大学助理教授）

テーマ：「AI」の知識を導入した日本語授業の実践—日本のアニメを利用して—

**発表者⑨**：陳 熾如（静宜大学助理教授）

テーマ：日本語と中国語における数量表現に関する研究—日本語学習者による数詞「一」の使用を中心に—

**発表者⑩**：斎藤 敬太（日本津田塾大学非常勤講師）

テーマ：方言理解支援ツール『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』の多言語訳から見た翻訳上の問題点  
—東北方言と6言語の対照研究を通して—

**発表者⑪**：神作 晋一（南台科技大学助理教授）

テーマ：丁寧体否定形式「～ませんです」の動向—国会会議録検索システムを例として—

**発表者⑫**：林 蔚榕（東呉大学助理教授）

テーマ：「おもてなし」の可視化について

**発表者⑬**：林 暉恩（銘伝大学修士課程）

テーマ：台日初級華語教科書分析—以語彙、語法以及會話情景為中心—

主催 輔仁大学日本語文学科・輔仁大学外国語学部・台湾日本語文学会

協賛 科技部・輔仁大学研究發展処・独立行政法人国際交流基金・台湾日語教育学会・韓国日本語学会・日本比較文化学会・昭和文学会・致良出版社・大新書局・尚昂文化事業国際有限公司

後援 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所